



ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出合いや発見がきっとある

年頭のご挨拶



(財)北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

新年あけましておめでとうございます。
本年も昨年に引き続き、よろしくご指導の程お願い申しあげます。

平成十三年に北海道の委託を受け、北海道生涯学習協会に事務局を置いて開設いたしました「道民カレッジ」事業は、お蔭様で平成十九年十一月末で、学生数二万一〇〇〇名を超えるとともに、称号取得者も四〇一名に達しましたことは、関係各位の温かいご支援の賜であり深甚の謝意を表する次第でございます。平成元年、それまで社会教育関係団体の中核として設立された(財)北海道社会教育協会は、(財)北海道生涯学習協会に名称を変更し、今日まで二十周年道民に対し様々な学習機会を提供してきました。

新しい年を迎え、今改めて当協会の「わたしたちの願い」をみまますと

わたしたちの願い

- 一 誰もがその努力と能力が正しく評価され、夢や志を実現することが信じられる開かれた社会
 - 一 生きて学んで実践し、本当の豊かさを実現できる社会
 - 一 学歴やたった一度の選択で、その後のすべてが決まってしまうのではなく、回り道や道草などいつでもやり直しがきく、柔軟な社会
- わたしたちは、道民の自発的な学習活動を応援し、生涯学習社会の実現に寄与したいと思えます。

北海道生涯学習協会

となっております。

当協会では、道民一人一人が生涯学習を通して、心豊かな生活を営むことができるよう研修会や講座の充実に努めてまいります。

皆様方のご助言を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

目次

● 道民カレッジからのお知らせ 2	● 私の生涯学習 4
・ 「ほっかいどう学」出前講座	・ 「道民カレッジと共に」
・ 「ほっかいどう学」かでの講座	札幌市 榎本聡子
・ 生涯学習実践記録と研究論文募集のお知らせ	● わが町の生涯学習 5
● 報告	当別町
・ 「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業 ... 3	● ・ 随想3 6
・ 「ほっかいどう学」実践講座in北見	・ 視聴覚センターからのお知らせ

道民カレッジからの
お知らせ

道内各市町村や大学等の高等教育機関、各種団体や民間教育事業者等のご協力のもとに、今年度も「ほっかいどう学」を機軸にした、大学放送講座や地域づくりの実践講座（出前講座）及び、連携講座を順調に進めることができ、関係機関の皆様へ感謝を申し上げます。

今年度十一月末現在の状況についてお知らせいたします。

○学生数は、二万一千人を突破しました。

○連携講座数は、年々増加傾向にあり、今年度途中分で、1871講座となっております。

○称号取得者は、

- 学士（1000単位）……………202名
- 修士（200単位）……………117名
- 博士（300単位）……………82名

学長奨励賞……………10名

と、急激な勢いで増加しております。

○道民カレッジボランティアは、

- 本部ボランティア……………24名
- 地方ボランティア……………56名

合計80名のボランティアの皆さんに活躍していただいております。

■「ほっかいどう学」出前講座

【これから実施する講座】

●一月二十日（日）

- ・会場 帯広市とかちプラザ
- ・講師 札幌国際大学
- 准教授 吉岡 宏高

・テーマ 地域の価値、再発見
〜帯広、十勝の未来をデザインしてみませんか〜

●一月三十一日（木）

- ・会場 鹿部中央公民館
- ・講師 トータルフードコーディネーター 高井 瑞枝

●二月二十日（水）

- ・テーマ 食育を通じた地域づくり
- ・会場 真狩村公民館
- ・講師 未定
- ・テーマ 基幹産業に基づく食文化の振興について〜真狩中学校・真狩高校・他町村等の取組に学ぶ〜

●二月二十一日（木）

- ・北見市役所研修室
- ・講師 北海道教育大学 准教授 佐々木貴子
- ・テーマ 市民と行政の協働によるまちづくり（仮題）

●二月予定

- ・会場 白老町虎杖浜温泉地区
- ・講師 札幌国際大学 教授 松田 忠徳
- ・テーマ 虎杖浜温泉の活性化を考える

●二月予定

- ・会場 鹿追町民ホール
- ・講師 未定
- ・テーマ 「しかおい学・カナダ学と鹿追町のまちづくり」〜子ども達と大人が創る未来の鹿追町〜

■「ほっかいどう学」かでの講座

●一月十六日（水）十三時半

「人口一〇〇万人減時代の道経済」
やわらか頭で、三十年で一〇〇万人も人口が減る時代を生き抜こう
北海道情報大学経営情報学部 教授 浜淵 久志

●一月二十五日（金）十三時半

「しつかり噛んで健康・長寿」
入れ歯を用いる補綴歯科治療とその教育・研究に四十年間取り組んでいます
北海道医療大学歯学部 教授 平井 敏博

●二月二十二日（金）十三時半

「であい ふれあい いたわりあい」
ラジオパーソナリティーをしながら、この二十五周年で一人以上のお客様を旅に案内し、日本一といわれるトラベルキャスター
(株) マップロ松永事務所 代表 松永 俊之

●二月八日（金）十三時半
「寒冷・積雪地の北海道で健康に生活するために」
元 北海道体育学会長
前 北海道体育協会スポーツ科学委員長
北星学園大学経済学部 教授 三宅 章

生涯学習実践記録と
研究論文募集のお知らせ

生涯学習実践記録と研究論文を募集しています。締切りは一月十八日（金）です。（当日消印有効）

◎ テーマ

★わたしの生涯学習
（社会参加、ボランティア、リカレント、各種サークル、家庭の取組など）

★わがまちの生涯学習
（市町村・学校・企業やNPO等民間・地域における取組）

★これからの生涯学習
（新しい時代への提言、戦後六十年を振り返って、ITを活用した取組、国際的な活動など）

◎ 応募の方法

☆原稿 四千字（四百字×十枚）程度
表紙に郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号を明記してください。
☆問い合わせ・送付先
財団法人北海道生涯学習協会
〒060-0002
札幌市中央区北二条西七丁目
かでの2・7 九階
電話 011-181-1666
FAX 011-181-1664
E-mail ronbun@hsgk.jp

多くの皆様の応募をお待ちしています。（副賞有り）

全ての人に、働く権利と喜びがあります。

札幌ワークセンター 縫製・軽作業

ポプルス デイサービス

セルブさっほろ 縫製 スクリーン印刷 軽作業

北海道リハビリ

リハビリ・クリーニング

リハビリ・エイト印刷

リハビリ・おそろクリーニング

社会福祉 北海道リハビリ

〒061-1195 北海道北広島市西の里507番地1
TEL (011) 375-2111 (代) FAX (011) 375-4051 www.setp.net

眺めの良い喫茶店！

「かでの2・7」9階

喫茶つぐみ

営業時間 9:00~17:00 (土日祭日除く)
道庁内線 36-341

¥260
コーヒーの他各種飲み物、軽食もごぞいます

報告

「ほっかいどう学」

ネットワーク推進事業、成果をあげて終わる

道内各地で実施している「地域学」とのネットワークを図り、地域の人材育成や地域づくりのノウハウを学ぶため「ほっかいどう学」実践講座を広域的な事業として開催し、地域における生涯学習の機会を増やすとともに、地域づくり・人づくりを一層推進することを目的とし、札幌市を含め六市で開催しました。

本講座は、会場各市の後援や協力を得て、道内外の講師による講演と各地域で「地域づくり」を指して活動している実践者による事例発表が行われましたが、成果の大きい意義ある講座で終了することができました。

特に、事例発表は、各会場ともボランティア活動に関わる発表が多かったのが特徴でした。

- ・観光ボランティア
- ・レクリエーションボランティア
- ・高校生ボランティア
- ・自然体験ボランティア
- ・女性擁護ボランティア

など、それぞれの団体のリーダーとして確固たる信念を持ち活動を継続している発表内容は、参加者に大きな感動と実践化への勇気を与えてくれました。

また、本講座が成果ある講座で終了することができたのは各地でカレッジ学習に取り組むカレッジ

ボランティアの存在があったことに運営に携わってくれました。本講座の趣旨を理解し、積極的に運営に携わってくれました。チャシ配付、運営の役割分担の決定、当日の会場設営、受付、司会進行など幾度か自主的に会議を持ち活動を展開してくれました。

受付風景(釧路会場)



講師とともに(北見会場)

今後各地のカレッジ生が、地域の実践家として、地域づくりに、寄与してくれることを期待しているとあります。

「ほっかいどう学」実践講座

「多くの人々を学び無事終える」

オホーツク圏域ボランティア

早坂 惇 司

オホーツク海に面する網走管内には約一、四〇〇人のカレッジ生がいます。

その内の約三〇〇人が北見市を中心とした学ぶ仲間で占めることになりました。

本年かである2・7で開催された実践講座を受講した折り、生涯学習協会としては、今後「ほっかいどう学」をネットワーク推進事業の重点に据え進めていくとの説明を受けました。

事業計画として、オホーツク圏の中核都市である北見市の開催は十月二十九日でした。日時の決定、会場の確保、講師及び発表者の選定、当日のプログラム内容等、カレッジ事務局の手早い対応に私達は尊敬と敬意を表した次第です。北見市を中心とするボランティアは、人数からいっても実働できる人数は十五人にも満たない人数です。

七月に事務局の来北を受けて会議を持ち、趣旨を理解し、更に十月に同じく再度事務局の来北をいただき、事務局とボランティア側との計画のすり合わせの協議を重ねた。

また、会議の合間を縫って、第二回時三役会議を持ちながら、第二回

目の事前会議を実施した。内容としては、①参加者への啓蒙、②会場各室の確保、③受付関係、④看板、表示等、⑤照明、放送、機器等、⑥机、椅子の配置と格納、⑦会場への対応等を協議した。

講座終了後に、反省会を実施。そして、講師の橋本登代子先生から「(前略)小春日和の日だまりにいるような(後略)」のお手紙をいただきました。

ボランティア一同、この言葉を素直に受け止め、講師の研究意欲に敬意を表し道民カレッジ事務局の方々に、札幌のボランティアの方々に深甚な感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

新 OPEN 文化創造

サンコー事務局株式会社

TEL 011-614-0206 FAX 011-614-8266

私の生涯学習

『道民カレッジと共に』

札幌市 榎本 聡子



私は情報に鈍くて、道民カレッジの存在を知ったのは昨年の春で、その時はすでに受講者数は二万人近くに達していた。

長年いろいろな無理をしたために十八年前過労とストレスから自律神経がコントロールできない病気になる、心臓停止して職場もあと一息と言うところで中途退職を余儀なくした。

その後は繰り返し心臓の発作と闘いながらの生活であったが、まるでつきり動かないわけでもないの好きなパソコンの技術を生かしたく市民活動団体「シニアパソコン倶楽部」の結成をした。私の病気が発作が起ると心臓のみならずメンタル的にもコントロールできず、それを隠すために平静を装っているうちに目が見えなくなり、両眼失明をも危ぶまれ手術をした。そんな状態で仕方なく一年ほど

で「シニアパソコン倶楽部」から手を引いた。

身体はだるく気持ちの晴れない日を二年ほど過ごしたある日の朝、目を覚ましたら身体も心もとても軽やかに思う日があった。

不思議に思いながら区役所に用事を足しに行った帰りに「何か良い催しはないか」とチラシを見に区民センターへ寄ったところ「道民カレッジ」のガイドブックが目にとまり、開いてみて驚いた。

広範囲にいろいろの講座と連携して思いのままに受講できるし、その数の多いこと。思わず歓声が上がった。

その足で「かでる2・7」へ行き、説明を受けて受講者の手続きをした。帰宅後、何から始めるかガイドブックと睨めっこ。五月になつてやっと受講を始めることができ、それからと言うもの都合がつく限り遠距離でも拒まず受講に出かける。

「なんと充実した気分だろう。今までにこれほどの充実感があったらどうか。」とおにぎりや飲み物を持参で走り回る日々が始まった。

最初は体力がなかったのと同前の年に車も手放して移動が大変だったが楽しくて新鮮で重たい足も知らず知らずのうちに動かす毎日であった。

忘れかけていたことを復習として学ぶ、また私としては新しい分野の学びとでも言うか「ほっかいど学」でアイヌのことやまた北海道の各地の産業と物産など、学校では学ぶことのできなかったことの多くに新鮮さを感じた。毎回熱心に通ってくる人との多くの出会い、今までこのように前向きな人々に出会ったことがなかった。

一年余りしたら、いつの間にか歩くことが負担に感じなくなっていることに気づいた。一日に三か所も講座に通えば知らないうちに一万歩、一万二千歩と歩く日が多い。

心臓の発作もほとんどなく、発作が起きても軽度で終わるので、それに伴ってメンタル的なことも自分で「どうもおかしい」と感じる回数は少なくなつた。

学びながら健康体を取り戻すと言う素晴らしい境遇を「道民カレッジ」から与えてもらったと言えよう。

これがかつて「榎本さんの症状に治療方法はありません。」と言われて何度か自死を考えた私とはまるで変わったと思う。

平均寿命が延び高齢化が進む中、認知症や脳血管障害も増えてきているが、道民カレッジを受講している人と頭も身体も老化には大いにブレーキを掛けられると思う。

新教育基本法が二〇〇六年十二月十五日に改定されて第三条に（生涯学習の理念）と言うのが加えられた『国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができ

よう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。』とある。

道民カレッジはまさに教育基本法の理念通りに私の生涯学習への取り組みたい気持ちを満たしてくれていると思う。

医薬で改善されなかった私の病気は道民カレッジで健康になれた。友人からは「見るたびに元気になってきているようだね。顔も生き生きしてきた。」と言われるが、生涯学習こそ医療費削減になり、また、みなが生き生きと高齢期を過ごせる。

これは現役が一生懸命働き生産されたものを浪費しない『生産性』の高いものだと思える。

今の私は道民カレッジがあつて朝が来て、それと共に生きていけると言えよう。

山藤三陽印刷株式会社
 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条4丁目16-1
 【営業部】代表電話 (011) 661-7163 FAX (011) 661-7173
 東京支店 / 電話 (03) 3518-4631 FAX (03) 3518-4633
 苫小牧支店 / 電話 (0144) 24-8078 FAX (0144) 31-2423
 千歳支店 / 電話 (0123) 26-3555

わが町の生涯学習

当別町の生涯学習

「町民自主企画家庭教育講座」

「あのーすみません。私たちのサークルで、講師に〇〇さんを迎えて、町民、親子を対象に〇〇の講座を開催してみたいと思ってるのですが…」(ある一般町民の方)

「わかりました。それでは主催者は何名で、いつ頃予定していますか。具体的に内容はどのようなものですか。」(教育委員会担当職員)

といった具合に、打合せが始まります。

これは、平成十五年度より始まった、町民自らが企画し、主催する講座等に教育委員会が共催し、支援する事業です。今年度(平成十九年度)からは、学習活動を活性化させながら、家庭教育支援の充実を図るために、事業の領域の条件に必ず「家庭教育に関すること」を盛り込みました。たとえば、子どもを対象とした講座や教室、鑑賞事業など、親を対象とした学習会、次世代の親となる子を対象にした事業、子育てに関する団体等の育成などです。

共通の学習目的をもつ三名以上が教育委員会に申請し、事業目的や条件の審査を経て事業実施が決定した段階で、広報やポスター、チラシ配付などで事業を周知し、

参加申込者が十名以上になった場合に実施となります。

事業の費用は、講師謝礼金や託児対応が必要な場合の託児対応者謝礼金を文科省家庭教育支援総合推進事業委託補助で対応し、町有施設の減免措置を行います。

四月に、「親子わらべうたもぐらどん」サークルからの申込で、札幌在住のわらべうた講師を招いて、昔から歌い継がれてきたわらべうたを使って、親子で触れあい一緒に遊ぶ講座がありました。乳・幼児がお母さんの肌のぬくもりを感じながら、わらべうたのゆったりしたリズムやことばのおもしろさを体験しました。



一緒にふれあう親子

この日の参加は、二十二親子四十三名でしたが、「楽しくのんびり過ごせた」「ゆったりと親自身もいやされた」などの感想を頂きました。

九月には、異文化交流を目的に、「エンパワメントとうべつ」サークル

の企画講座がありました。講座内容は、在日三世の女性が、家族と離れ単身四十二歳で初めて韓国に渡り、自分の国の言葉を知るため留学した体験談を、親子で聞く講座でした。

講師の方の韓国の暮らしや文化、子どもたちの様子などを交えた笑いと涙の体験談は、楽しくユーモアのある、わかりやすいお話で思わず引き込まれていきました。



楽しい話に引き込まれる

十代から六十代までと幅広い年齢層で、小学生・高校生の親子を含めた十三名の参加でしたが、異文化交流にふさわしい充実した内容でした。

十月には「ぼかゆるたいむ」サークル主催の「オーガニックコットンの布と糸で、布ナプキンづくり」の講座がありました。九親子二十名の参加で、男の子の参加もあり、手芸をしながら、講師の方の環境やゴミの問題、からだへの影響を考えたお話はとてもよかつ

たと思います。

十一月には、三講座「障害のある子どもとのかかわりを考える」「パン窯でスウェーデンパンを焼こう」「森が教えてくれたこと」写真家がみつめる森のいのち」を行い、このように町民が自主的に企画し、運営する「町民自主企画家庭教育講座」をさらに企画する人たちが増え、そして参加者が増えていくことを望んでいます。また、それが今後も町民の学習機会の提供、家庭教育支援、生涯学習の啓発へとつながっていくことを願っています。



親子でナプキン作り

当別町教育委員会社会教育課

澤田 慎也

事務用品・オフィス家具・OA機器・教育機器 販売

有限会社 **オフィス・ノルテ**

〒005-0006
札幌市南区澄川16条6丁目2-5
TEL 011-811-9958
FAX 011-811-9959

随想③
人を育てる二つの柱

このタイトルは、実はザ・リッツ・カールトン・ホテル日本支社長の高野登氏のリーダー養成の言葉です。氏はホテル経営という立場で従業員の才能を伸ばす方法を三つの柱で表現しているのです。人材養成という意味から生涯学習にも援用できるのではないかと思

い、ここに紹介することにします。その一つは、モデリングとされます。高いパフォーマンスをあげている人をモデルにしなさいと言います。まず形から入ることで結果が出るノウハウを身につけせるとされています。

その二つ目は、シャドウイングというもので、結果を出している人をじっくり観察させて、成功のエッセンスを読み取らせる方法で職人の世界で昔からよく行われていた手法と言えます。

第三は、コーチングでコミュニケーションをとりながらヒントを与えて自発的に考えさせる手法とされます。

以上ですが、これらをどのような生涯学習の場面で生かしていくかが問題となります。皆さんはどのように考えますか。

まず、モデリングの場合。なかなか他人と話ができない人がいた

とします。そのような時に話上手・聞き上手の巧みな人をモデルにするとういでしょう。積極的に話せるようになるかもしれません。そうすると自己の世界に閉じこまることなく、生涯学習の道へ一歩踏み出せるでしょう。

シャドウイング。これは一種の盗みともいえる手法でしょう。職人技を盗むとも言いますが、他人のよいところを真似るやりかたで、積極的な生涯学習参加への一つのステップになるかもしれません。

コーチング。野球のコーチのように支持やヒントを与えて考えさせる手法でしょう。実社会では大いに人を養成していると思われるものです。生涯学習の面ではコーチされることよって自己開発し、外に出て自分探しを行う積極性を養うことができる手法と言えるでしょう。

以上、勝手に生涯学習と結びつけて勝手な解釈を行ってみました。が、こう考えてみるのもたまには良いのではないのでしょうか。人・自分を育てる柱として何かの役に立てれば幸いです。年末近くになりましたが今年もワンステップの踏み出しがあったことと思えます。

(財)北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

視聴覚センター
からのお知らせ

視聴覚センターでは、視聴覚教材(ビデオ・DVD・十六mmフィルムを無料で(送料別)貸出しています。視聴覚センターのHPからも直接教材の検索・予約ができます。

十九年度後期購入の教材の一部をご紹介します。

〔教育・福祉〕

「誰がために」

「生きることと死ぬこと」

〔教養〕

「デジタル時代の著作権」

「先住民族エコツアアの始動」

〔芸術・芸能〕

「情報の達人」

「能楽名演集」

〔家庭生活・趣味〕

「きっぱりことわるたばこにNO」

「名前：それは燃えるいのち」

「おにぎり」 「大地震発生」

「飲酒運転 悲劇の連環」

〔学校教育〕

「じしんだー!!ミィちゃん」

「ぼうさいくんれん」

「きっぱりことわる薬物乱用にNO」

「映画をつくる子どもたち」

「いじめ脱却マニュアル」

「中学生のいじめを考える」

〔産業・技術〕

「働きやすい職場をめざして」

「知っていますか？」

「食品のかしこい選び方」

ほか

事務局からのお知らせ

本年度の会費納入について、誠に恐縮ですが、賛助会費未納の方は納入についてご協力をお願いします。

また、会員の皆様で住所を変更された方は事務局までお知らせ下さい。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は、会員並びに関係者の皆様の温かいご支援とご協力により事業も順調に実施することができました。心よりお礼申しあげます。

本年度、当協会主催による「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業は、七会場で実施しましたが特に、地方会場で実施した事業の運営では、会場設営、司会、受付など地方カレッジ生の支援のもと実施されましたが、お蔭様にて各会場とも所期の目的を果たすことができました。

このことは、今後カレッジ生自らが自主講座を立ち上げる日が近いことを意味していると思われまます。

カレッジ生一人ひとりが住んでいる地域で学習成果を活用し、地域づくりに取り組むことで、住んでいる地域が活性化し、新しい北海道の創造につながるようになるだろうと期待しています。

本年も当協会は、事業の充実を図りながら北海道の生涯学習の推進に努めて参ります。

皆様にとりまして一層の飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。